

当院緩和ケアチームが介入している患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学総合医療センター倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 当院緩和ケアチームにおけるクロルプロマジン注射剤の使用実態調査

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学総合医療センター・精神神経科 大学院生 氏名 船槻紀也

《研究の目的》 クロルプロマジン注射剤の使用実態調査を行うことで適切な症状緩和につなげる。

《研究期間》 研究許可日～2021年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

当院入院中に緩和ケアチームが介入した患者さんで、2017年9月1日から2020年12月31日の間にクロルプロマジン注射剤の投与を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報

- 1) 患者背景 (年齢、性別、身長、体重、緩和ケアチーム依頼診療科、入院歴、入院時PS)
- 2) ハミルトン不安評価尺度 (以下HAM-A) を用いた不安症状の評価
- 3) Visual Analogue Scale・Numerical Rating Scale・Support Team Assessment Schedule 日本語版を用いた嘔気・吃逆症状の評価
- 4) せん妄の重症度評価尺度 (Memorial Delirium Assessment Scale) を用いたせん妄症状の評価
- 5) 薬原性錐体外路症状評価尺度 (drug induced extra-pyramidal symptoms scale) を用いた薬原性錐体外路症状の評価

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

* 上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学総合医療センター 精神神経科学講座 担当医師 (病院助教) (船槻 紀也)
大阪府守口市文園町 10-15
電話 06-6992-1001 (代表) FAX 06-6995-2669